

官民連携新技術研究開発事業 新技術概要書

本概要書作成年月

平成25年3月4日

1. 新技術名	レジンコンクリートパネル水路再生工法			
2. 開発会社	農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究所 日立化成工業株式会社 日本ホーバス株式会社			
3. 資料請求先	会社名	株式会社サンレック		
	住所	〒175-0094 東京都板橋区成増一丁目30番13号 サンリツ三井生命ビル9階		
	担当課	営業企画室	担当者	吉岡
	電話	03-6807-9515	FAX	03-5967-5318
	ホームページ	<a href="http://www.sunrec.co.jp">http://www.sunrec.co.jp</a>		
4. 工種区分	大分類		小分類	
	4 水路工	5 河川及び排水路工	401 水路工 402 暗渠 502 排水路工 503 暗渠排水	404 水路橋 403 水路トンネル
5. 新技術の概要	<p>既設水路の内面に、厚さ10mmの高強度かつ耐摩耗性に優れるレジンコンクリートパネルを設置し、その背面に流動性のある接着材を注入しパネルを固着することによって水路表面を被覆する。流動性のある接着材とは、弾性樹脂を主体とする低粘度の材料であり、既設水路の表面とパネルの背面の隙間が僅かな場合でも、接着材の自重によって容易に注入できるため、パネルの接着による水路断面積の損失は軽減でき、尚且つ、パネル表面の平滑性によって既設水路の通水機能は回復できる。</p>			
6. 適用範囲(留意点)	<p>水路表面のひびわれや水流摩耗による浸食、剥離などの発生により、通水機能が低下したコンクリート製の既設水路を対象とする。</p> <p>【留意点】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・漏水量の多い箇所(目地部、ひび割れ等)は、事前に止水対策が必要</li> </ul>			

7. 従来技術との比較		新技術	比較する従来技術 (当初の工法・標準案)	比較の根拠
概要図			-	-
工法名	レジンコンクリートパネル水路再生工法			
経済性(直接工事費)	20,000/㎡			
工程	20～35㎡/日			
品質	従来技術と同程度			
安全性	従来技術と同程度			
施工性	従来技術と同程度			
周辺環境への影響	従来技術と同程度			
8. 特許	第4844863号(平成23年10月)			
9. 実用新案	-			
10. 実績	農水省	平成18年度東海農政局新濃尾農地防災事業所 新濃尾(一期)地区大江排水路一宮上流工区その1工事 平成18年度東海農政局新濃尾農地防災事業所 新濃尾(一期)地区大江排水路一宮上流工区その2工事 平成19年度東海農政局新濃尾農地防災事業所 新濃尾(一期)地区大江排水路一宮上流工区その3工事		
	その他	2011年度鹿児島県 始良・伊佐地域振興局 平成23年度県営用排水施設整備事業小鹿野地区23-2工区 2011年度神奈川県 湘南地域県政総合センター 平成23年度県営用排水施設整備事業相模川左岸湘南地区行谷工区保全工事 2011年度 広瀬桃木両用水土地改良区 土地改良施設維持管理適正化事業北橋幹線地区沈砂池排砂門整備補修工事 2009年度 安芸太田町建設課 町営整備事業来女木水路改修工事 2009年度 愛知県 西三河農林水産事務所 経営体育成基盤整備事業東境銀河地区その14工事		
11. 備考				